

旅立つ卒業生

泉学園新聞

宮崎県立
都城泉ヶ丘
高等学校
新聞部
発行

第七十六回卒業式挙行

3月1日に令和5年第七十六卒業式が挙行され、普通科198名、理数科75名の計273名の卒業生が旅立った。今年は、新型コロナウイルスによる制限が無くなり、全校生徒で卒業していく先輩たちの門出を祝うことができた。

卒業生は、この泉ヶ丘で過ごした3年間を振り返り、未来に向け大きな期待を抱き、堂々たる入場から、卒業式が始まった。

式の最中には、卒業生を代表して、3年

業生との思い出を振り返る生徒や、これまでの学校生活の思い出から、涙を流す卒業生の姿も見られた。

卒業生を代表して、答辞を述べた、3年

▲答辞を述べる黒肱さん

1組黒肱博太郎さんは「これから社会はますます大きく早く変化する、そんな時代になると思います。私たちはそのような社会で生きていかなければ

なりません。ですが安心してください。私たちはコロナ禍の最中で入学し新しい生活様式に対応しながら厳しくも楽しい学校生活を送ってきました。コロナを乗り越えてきた私たちだからこそ、社会に出ても臨機応変にものごとに対応し、新しいことにも挑戦し続けることができると思います。世界では、絶えない紛争・戦争があり、またジェンダーの問題や差別問題など私たちが考えていかなければならない問題がたくさんあります。そのような問題も私たちならきつと乗り越えてみんなが楽しく自由に暮らせる世界を作ることができると思っています。そのために泉ヶ丘で学び身に付けた泉のスキルをさらに磨いて社会に貢献できる人間になっていきます。今、私たちはそれぞれの輝かしい未来に向けて飛び立っていきます。時には苦しく挫折してしまいそうなこと

都城の発展に向けて

2月28日に2年生による学習成果発表会が行われた。普通科の生徒郷土探究のテーマは人口減少対策、都市の「LIF活用」、国スポ・障スポ、国際交流、カーボンニュートラル、なども施策、中心市街地の活性化、歴史資料活用、の8つあり在校生だけでなく、多くの方々が来訪しその発表を聞き、評価を行った。

例年、泉ヶ丘で行わ

や、希望が見えなくなることもあるかもしれません。そのような時は今周りに座っている泉ヶ丘の仲間たちと、この学び舎で過ごした日々を思い出して、自分の未来に向かって突っ走ってください。そしていつか、あの時は大変だったよなー。でも楽しかったよなー。と笑いあい懐かしく語り合えることを楽しみにしています」と今後の明るい未来への目標を語った。

(元明)

大会結果

●男子ハンドボール部
令和5年県新人大会
第3位

●囲碁部

第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会
19路盤戦 女子団体
準優勝

萩原 もな

酒井 和葉

川内 萌々子

全国囲碁大会出場

9路盤戦

男子個人

6位

19路盤戦

男子個人

れている郷土探究。泉ヶ丘生が自ら都城の魅力や問題点について自分の考えをもとに実現可能な案や方法を模索し、意見をまとめ発表する場となっている。また、協力して下さる先生方や都市役所の方々の尽力もあり毎年非常に明瞭な発表が行われている。

理数科では課題研究が行われ、物理・化学・生物・地学・数学分野の内容をテーマとし、発表を行われた。それぞれが個性的な仮説や研究を行っており、と



◀説明をする生徒

でも興味を惹かれるものとなっていた。今回の学習成果発表は泉ヶ丘生が将来の活躍につながるような能力が身につく貴重な機会となった。(筒井)

6位
山下 茂太郎

9路盤戦 女子個人

7位

萩原 もな

●放送部

第7回全九州高総文・第45回九州高校放送コンテスト

アナウンス部門

決勝進出

佐藤 実菜子

朗読部門

準決勝進出

杉山 心乃海

●第18回わけもんの主

張都城北諸県支会大会

奨励賞受賞

大山 祥